

D 中学校 ～学年進行で生徒の探究する力を育成している



学年進行で探究する力を育成できるように、指導計画を作成するとともに、地域学校協働本部を活用し、生徒の総合的な学習の時間の充実を図っています。



学年進行で探究する力を育成する取組

1年生は、総合的な学習の時間で「地域を知る」「職業について知る」を題材として学習に取り組んでいます。そこでは、生徒が探究的な学習のプロセスを踏んで課題の解決に迫れるよう、学習の過程を、課題の設定、情報の収集と整理・分析、まとめ・表現と3つの過程に分け、特に課題設定や見直しの時間を充実させています。その過程の中では、思考ツールを活用し課題を立てたり、グループで発表の機会を設けたりするなど、探究の方法が身に付くよう学習活動が計画されています。また、総合的な学習の時間の学習活動を通して、生徒同士の関わりを構築させることやコミュニケーションスキルを高めさせることも勘案して学習活動が実施されています。そして、2年生・3年生と学年が進行するにつれて学習の質を高めたり、深めたりする活動が実施される予定になっています。

D 中学校の「総合的な学習の時間」の目標

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
1 学年	解決の手段を知り、試すようにする。	示された形式で調査、発表することができるようにする。	示された課題について、取り組もうとする態度を養う。
2 学年	解決に向け、学んだ知識や技能を生かすようにする。	自分の課題に応じて調査方法や発表内容を構成できるようにする。	示された課題から、自ら深化させたいものを見だし、解決しようとしている。
3 学年	学んだ知識・技能を、社会と関連付けて、理解できるようにする。	未知の状況において、課題を見だし、調査・分析をとおして解決方法をまとめることができるようにする。	課題解決をとおし、社会参画の意識をもとうとしている。

地域学校協働本部との連携

地域学校協働本部と連携することで総合的な学習の時間の充実を図っています。地域学校協働本部はD中学校が所在するX市では各学校区に設置されています。地域学校協働本部の「地域コーディネーター」が中心となり、学校のニーズや地域住民の思いを拾い集め、地域の実情に合った活動を企画したり、それに伴う活動について支援をしたりしています。

1年生の「地域を知る」の授業では、設定した課題について探究する過程で、市議会議員や教育委員を招いて質疑応答する活動を行ったり、命について学ぶ学習でゲストティーチャー等を活用したりする場合に地域学校協働本部が講師等との連絡・調整をしています。